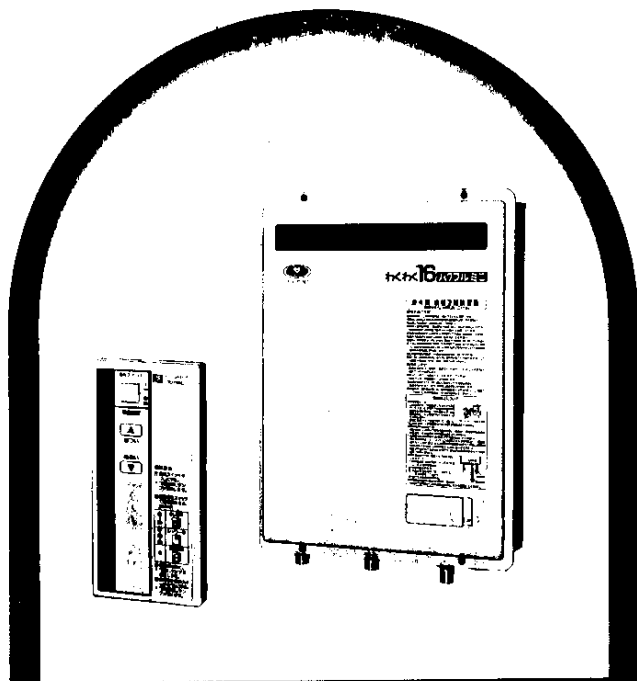
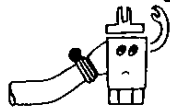
ガス瞬間湯沸器

取扱説明書 33-560型

保証書付

型式名	GW-16TMX-B

ガス器具をお使いになるときのご注意

ガス器具をお使いになったあとは必ず、ガス元栓も閉める習慣を

使用中は、熱くなります。手をふれないでください!

ガス器具は、ガスの種類にあった正しいものを

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

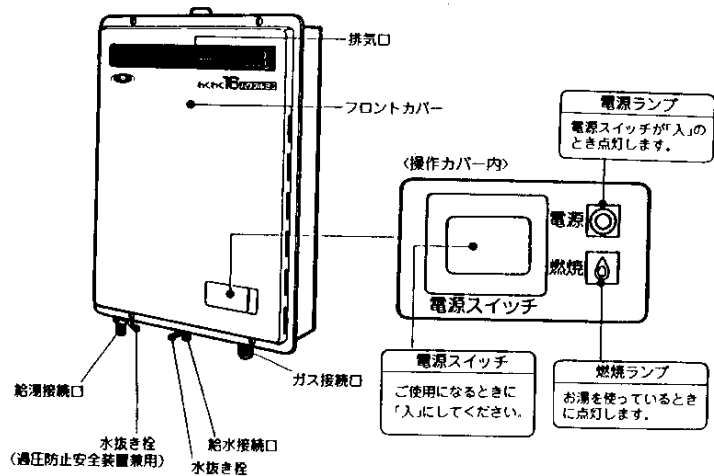
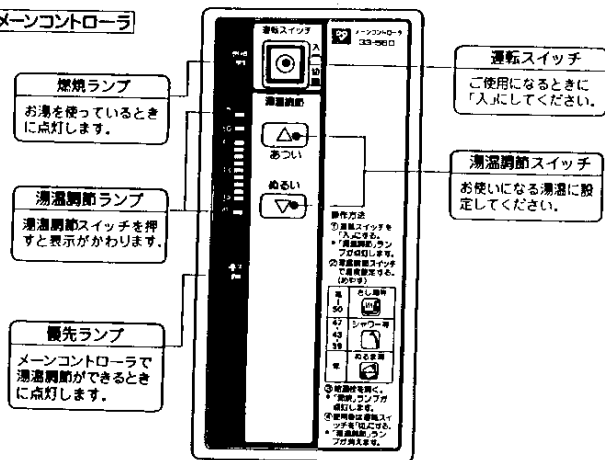
ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器を、お求めいただきましてありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

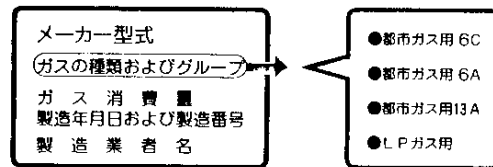
もくじ

各部の名称

外観・構造

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。
本体前面下部にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
●転宅されたときにも、供給ガスの種類と銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

●電源の電圧と周波数を確かめてください。
この湯沸器はAC100V，60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかご確認ください。

特に注意していただきたいこと②

用途についてのご注意

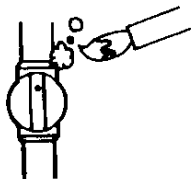
●台所・シャワー・洗面などの給湯以外の用途には使用しないでください。

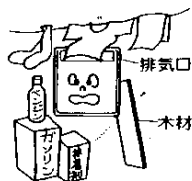
市販の補助用具使用についてのご注意

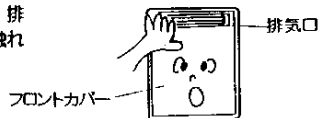
●この器具用の附属品・別売部品以外は使用しないでください。
（不完全燃焼などの原因になります。）

使用上のご注意

(1)ガス漏れ予防

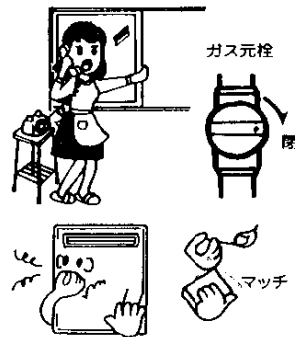
●使用後は、燃焼確認ランプが消えたことを確かめてください。
●長期間使用しないときは、必ず電源スイッチを切り、ガス元栓を閉めてください。
●使用中にガスのにおいや、不快なにおいがしないかときどき確かめてください。

(2)火災予防

●器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に、排気口は洗たく物などでおおわないでください。

(3)火傷にご注意

●使用中および消火直後は、フロントカバーや、排気口が高温になっていますので、絶対に手を触れたりしないでください。

特に注意していただきたいこと③

(4)ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉め、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

●万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの「入」・「切」や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。火や火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。

(5)凍結についてのご注意

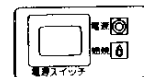
●冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具内の水が凍って、器具を破損することがあります。
詳しくは、11～12ページの「凍結防止について」をお読みください。

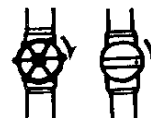
(6)異常時の処置

●万一、異常燃焼（バーナ着火時や使用中に"ゴー"と音のするような燃焼）をおこしたときや、緊急の場合には、下図の処置をし、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

1. 給湯栓を閉める

お湯の使用場所

2. 電源スイッチを「切」にする。（電源ランプが消えます。）

器具前面の右下側

3. 給水元栓・ガス元栓を閉める。

器具の下部

(7)飲用にお使いのときは

●湯沸器を長時間使用しなかったときは、すぐに飲料用や調理用にご使用にならないで、少し湯（水）を流してからご使用ください。

特に注意していただきたいこと④

(8)雷時の注意

●激しい雷が接近したときは、使用を中止し電源プラグを抜いてください。電源100Vを電源プラグなしに直接接続されている場合は、その回路のブレーカーをお切りください。

(9)その他の注意

●テレビやラジオを器具本体やコントローラ(ケーブル線を含む)の近くで使用される場合、映像の乱れや雑音が入ることがあります。このような時には、テレビやラジオを1.5m以上離してください。

日常の点検・手入れ

●日常の点検・手入れは、必ず行なってください。
(詳しくは14ページをお読みください。)

●故障または破損したと思われる場合は、ご自分で修理なさらずにお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご相談ください。

器具の設置

(詳しくは工事説明書をお読みください。)

●器具の設置は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションに依頼してください。

●この湯沸器は屋外専用ですので屋内には絶対に設置しないでください。

使用手順

点火前の準備と確認

1．給水元栓を全開にしてください。

器具の下部

2．給湯栓を開け、水の出ることを確認してから閉めてください。

お湯の使用場所

3．電源プラグをコンセントに差し込んでください。

屋外コンセント

4．ガス元栓を全開にしてください。

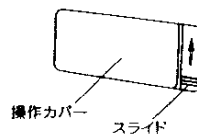
器具の下部

5．器具前面右下側の操作カバー内の電源スイッチを「入」にしてください。(電源ランプが点灯します。)

〈操作カバー内〉

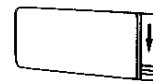
器具前面の右下側

〈操作カバーのあけかた〉

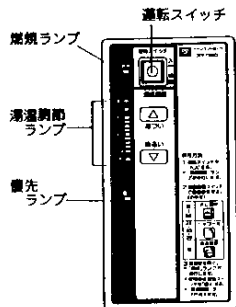
1.スライドを上に押しあげます。

2.スライドを上に押しあげたまま、操作カバーをあけます。

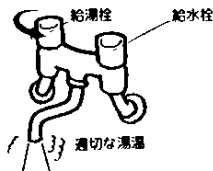
3.操作カバーを締めたあとは、スライドが確実に下までさがっていることを確認してください。

給湯の使い方

■点火

❶運転スイッチを「入」にします

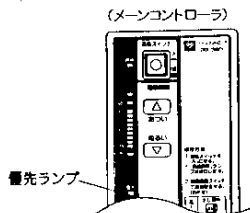
●メーンコントローラの運転スイッチを「入」にしてください。
(優先ランプと湯温調節ランプが点灯します。)

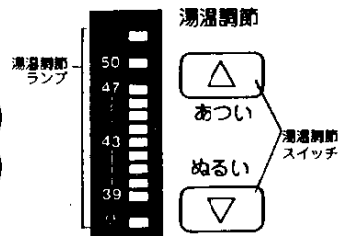
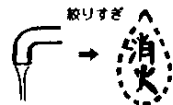
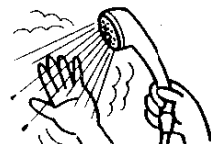
●湯温調節ランプの点灯表示
(1)電源スイッチが「入」のままで、メーンコントローラの運転スイッチを「切」から「入」にした場合は前回使用時に設定した湯温(運転スイッチ「切」の前に設定した湯温)の湯温調節ランプが点灯します。
(2)前回使用の設定が「高」の場合のみ安全のため「低」になります。

❷給湯栓を開けます

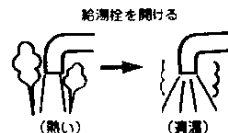
バーナに点火し、お湯が出ます。
(点火と同時に、メーンコントローラの燃焼ランプ(赤)が点灯します。)
〔注〕
燃焼ランプが点滅しているとき、またはお湯にならない場合は、いったん給湯栓を閉め、しばらく待ってから再度給湯栓を開けてください。

■湯温調節

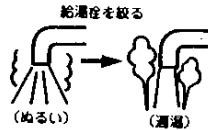
❶優先ランプの点灯確認

メーンコントローラの優先ランプがついていることを確認してください。
〔注〕シャワーコントローラ(別売部品：38-557)を取り付けられている場合。

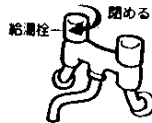
(メーンコントローラ)

❷湯温調節スイッチを調節します

お使いになる湯温に調節してください。
数字は目安の温度を表示しています。
([高]では約80℃、[低]では約37℃ですが、季節や湯量により多少変化することがあります。)
([39]~[47]の範囲では約1℃単位に9ステップの微調節ができます。)

● 給湯栓を絞りすぎると(約1.5ℓ/分以下)バーナの火が消えるようになっています。

〔注〕
● 給湯栓で湯量を調節しますと、水の中の空気が分離して、気ほうとなり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。
● シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。
● 2ヵ所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中の同時使用はやめてください。

夏期には

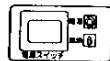
● 水温が30℃近くになりますと、湯温調節を「[低]」~「[43]」に設定しても湯量が少ない場合には、湯温が熱くなります。
このような場合は、湯量を多く出してお使いください。

使用手順④

●冬期など水温が低く高温の湯がとれない場合は、給湯栓を絞ってお使いください。
●図のときは湯量を絞ってお使いください。

■消火

給湯栓を閉めます

●バーナが消火し、燃焼ランプ(赤)が消えます。
●バーナ消火後、約7分間は燃焼用送風機が運転状態になっています。これは、再使用時の点火をより早くするためのものです。
(約7分経過後、自動的に燃焼用送風機の運転が止まります。)

長時間使用しない場合

●器具の前面右下側の電源スイッチを「切」にし、ガス元栓を閉めてください。
電源ランプが消灯します。

●器具の電源スイッチが「入」の状態では(メーンコントローラの運転スイッチは「切」)常に電気回路を作動させ安全を確保していますので、約8Wの電力を消費しています。

器具前面の右下側 器具の下部

停電後の使用方法

●停電時は、給湯栓を閉めて、メーンコントローラの運転スイッチを「切」にしてください。
●再通電したときは、6～10ページの「使用手順」に従って操作してください。

使用手順⑤

メーンコントローラ・シャワーコントローラ(別売部品)について

つぎの場合には、自動的に「高」から「低」になりますが、安全のためであり故障ではありません。

1.シャワーコントローラ(別売部品)がない場合。

●メーンコントローラの運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にした場合。
●停電(瞬時停電も含みます)から自動復帰した場合。
●電源プラグや器具の電源スイッチを「切」にし、再度「入」にした場合。

2.シャワーコントローラ(別売部品)がある場合。

●メーンコントローラの運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にした場合。
●停電(瞬時停電も含みます)から自動復帰した場合。
●電源プラグや器具の電源スイッチを「切」にし、再度「入」にした場合。
●メーンコントローラで「高」設定でシャワーコントローラの優先スイッチを「切」→「入」にした場合には、メーンコントローラが「高」から「低」になります。
●シャワーコントローラで優先スイッチを「入」にして「高」設定後、優先スイッチを「切」にした場合には、シャワーコントローラが「高」から「低」になります。

断水の場合

●断水時は、給湯栓を閉めて、メーンコントローラの運転スイッチを「切」にしてください。
●再通水したときは、6～10ページの「使用手順」に従って操作してください。

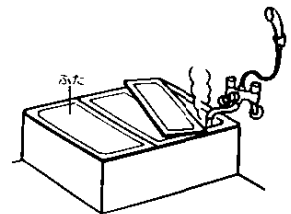
冬期にご使用の場合

●冬期(外気温が低いとき)には、排気ガス中の水分が水蒸気に変わるために排気口から白い湯気が出ることがあります。これは、人のはく息が白くなるのと同じ現象ですので、何ら心配はいりません。

上手な使い方

■風呂への給湯は…

●入浴される湯温より、少し熱めで給湯し、浴そうにはふたをして、放熱ロスを防いでください。

●ご家族全員が続けて入れる頃に給湯しましょう。

凍結防止について

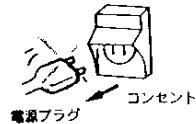
（暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください。）

冬期には、寒冷地以外でも急な寒波のため湯沸器内の水が凍結し、湯沸器を破損することがあります。湯沸器が凍結し、破損すると高額な修理費用がかかりますので、次のような処置をして湯沸器の凍結による破損を予防してください。

凍結防止方法

❶凍結予防ヒータによる方法

●この器具には、外気温が0℃近くになるとサーモスタットの働きで自動的に器具内を保温する凍結予防ヒータを組み込んでいます。

●凍結予防ヒータは電源プラグがはずれていると作動しません。絶対に電源プラグは抜かないでください。

●凍結予防ヒータは、器具前面右下側の電源スイッチの「入」・「切」に関係なく作動します。

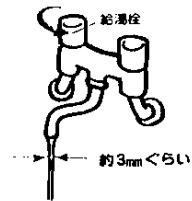
〔注〕外気温が極端に低く（無風時で−15℃以下）なりますと、この凍結予防ヒータだけでは効果ありません。このような場合は、❷または❸の方法を行ってください。

❷給湯栓から水を流す方法

●湯沸器本体だけでなく、給水配管、給湯配管の凍結予防にもなります。

●ガス元栓を閉め、器具前面右下側の電源スイッチを「切」にして、お風呂場の給湯栓を開け、1分間に約200cc以上（牛乳びん1本ぐらい）の水を浴そうに流し込んでください。

●流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をご確認ください。

●電源プラグは抜かないでください。

凍結防止について②

❸水抜きによる方法

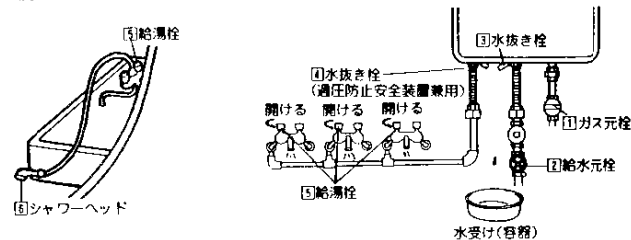
〈入居前や長期不在の場合〉

●給水配管の凍結予防はできませんが、凍結から湯沸器を守るには、最も良い方法です。

次の順序で行なってください。

(1)器具前面右下側の電源スイッチを「切」にし、ガス元栓[1]を閉める。
(2)給水元栓[2]をしっかり閉める。
(3)水抜き栓[3]、[4]を開ける。（2本）
(4)給湯栓[5]またはシャワー栓（シャワーを取り付けている場合）を全部開ける。
(5)シャワーヘッド[6]を床面まで下げる。

●給湯栓[5]およびシャワーヘッド[6]と、水抜き栓[3]、[4]から水が抜けるのを確認してください。

●次にお使いになるまで、このままにしておいてください。

■水抜き後の使用方法

(1)水抜き栓[3]、[4]を元通りしっかり閉める。
(2)ガス元栓を閉めた状態および器具前面右下側の電源スイッチを「切」にした状態で給水元栓[2]を開き、給湯栓[5]およびシャワーヘッド[6]から水が出ることと水抜き栓[3]、[4]から水漏れがないことを確認したのち、給湯栓[5]を閉めてからお使いください。
(3)6ページの「使用手順」に従ってお使いください。

■ご注意

●もし凍結して水が出ないときは、使用をひかえ（器具前面右下側の電源スイッチを「切」にした状態で）、給湯栓[5]を開け、水が出るまで待ってからお使いください。

■凍結したとき

●凍結した場合、ガス元栓・給水元栓を閉めてください。凍結したまま使われますと器具に異常が生じる場合があります。

●凍結がとけたあと、水漏れがないことを確認のうえご使用ください。

●器具や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。（有料）

安全装置が作動したときの処置方法

処置について

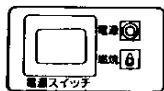
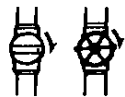
●点火しなかったり、ご使用中にバーナが消火したときには、下記の方法および15ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。
次の安全装置が働いた場合には、再点火のできる安全装置は再点火して使用してください。
また、それ以外の安全装置の場合は、電源スイッチを「切」にし、ガス元栓・給水元栓を閉めてからお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

1．電源スイッチを「切」にする。
（電源ランプが消えます。）

器具前面の右下側

2．給水元栓・ガス元栓を閉める。

器具の下部

3．お求めの販売店へ…

連絡

立消え安全装置

バーナの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

電流ヒューズ

過電流が流れますと、自動的に運転を停止します。

空だき安全装置

万一、バーナの火が消えずに、湯温が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。
この安全装置は自動復帰しません。

過圧防止安全装置

器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。

過熱防止装置

万一、器具が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。
この安全装置は自動復帰しません。

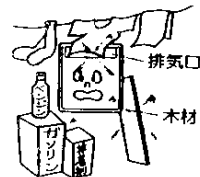
漏電安全装置

器具内の電気回路に異常がおこり、漏電などの危険が生じますと、電気を自動的に停止します。
この安全装置は自動復帰しません。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの前には、必ず給水元栓とガス元栓を閉め、電源プラグを抜いて、器具が冷えてから行なってください。

点検

●器具および配管より水漏れ・ガス漏れはありませんか。
ガス漏れの確認は、配管接続部に石けん水などをつけて調べてください。
●運転中に、器具から異常音が聞こえませんか。
●器具の外観に異常は見られませんか。
●器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。

お手入れ

器具の表面が汚れたときは、布または、スポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけて、ふき取ってください。シンナー・ベンジンなどでは、ふかないでください。

コントローラの表面が汚れたときには、水を付けた布をかたく絞って軽くふき取ってください。
洗剤・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。

〔注〕コントローラの内部には、電気部品が入っていますので、絶対に、ぬらさないようにしてください。

定期点検のおすすめ

●ご使用上支障がない場合でも、安心してより長くご使用いただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご相談ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

■故障・異常の見分け方と処置方法について（○－主原因、△－原因）

原因＼現象		電源ランプが点灯しない	燃焼ランプが点灯しない	使用中に消火する	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	湯温が極端に変動する	給湯温度の調節ができない	処置方法	お客さま	販売店・大阪ガス
電源プラグがはずれている(電源スイッチ が「切」になっている)		○	○						電源プラグをコンセントに差し込む（電源スイッチを「入」にする）	○	
ガス元栓の開き不十分			△	△	○		△	△	ガス元栓を全開にする	○	
配管内に空気が残っている			○	△					点火操作を繰り返す	○	
ガス圧が適切でない	低い		△	△	○		△	△	他の器具も同様の場合は点検を依頼する（他に原因がないとき）		*
	高い		○								
給水元栓の開き不十分			△	△		○	△	△	給水元栓を全開にする	○	
水圧が適切でない	低い					○		△	点検または点検を依頼する（他に原因がないとき）		*
	高い				△						
水ストレーナの詰まり			△	△		○	△	△	点検を依頼する		*
断水している			○						再通水まで待つ	○	
凍結している			○						凍結がとけるまで使用を中止する。電源プラグがはずれている場合はコンセントに差し込む	○	
バーナ炎口の詰まり 空気吸込口の詰まり			△	△	△			△	点検を依頼する		*
熱交換器目詰り			△	△	△			△	点検を依頼する		*
温度調節が適切でない					○	○	○		「使用手順」の「湯温調節」を参照する	○	
ノズル詰まり			△		○				点検を依頼する		*
安全装置が作動		○	○	○					点検を依頼する（度々作動する場合）		*
水量センサの故障			○	○					点検・修理・部品交換を依頼する（他に原因がないとき）		*
停電		○	○	○					再通電するまで待つ	○	
漏電安全装置の故障		○	○	○					点検を依頼する		*
電気部品の故障		○	○	○	○	○	○	○	点検を依頼する（他に原因がないとき）		*

●処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法②

次のような場合は故障ではありません。

現　　象	説　　明
寒い日に排気口から湯気がでる。	排気ガス中の水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
出湯停止後もファンの回転音がする。	再使用時の点火をより早くするため約7分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が白くなる。	水の中の空気が分離して気ほうとなるためです。
給湯栓を絞ると水になる。	湯量は約1.5ℓ/分以下に絞りますと火が消えるようになっています。
給湯栓を急に止めるとゴツンと音がすることがある。	給水パイプに逆止弁を取り付けると、音がする場合がありますが、水が急に止まるために発生する音で異常ではありません。

異常報知(警報モニター)について

メーンコントローラには、湯沸器に不具合が生じた時、各表示ランプの点滅及びブザーによって、不具合の原因を知らせる異常報知(警報モニター)機能が付いていますので、メンテナンスのスピード化に役立ててください。

ランプ表示	報知機能	ブザー報知
燃焼ランプ点滅	不着火・失火	○
優先ランプ・燃焼ランプ 点滅	燃焼用送風機異常（不回転・失速）	○
湯温調節ランプ(43℃)・燃焼ランプ点滅	サーミスタオープン故障	—
湯温調節ランプ(43℃) 点滅	サーミスタショート故障	—
優先ランプ・燃焼ランプ 湯温調節ランプ(43℃) 点滅	元電磁弁異常	○

長期間使用しない場合

必ずガス元栓・給水元栓を閉め、運転スイッチ・電源スイッチを「切」にし電源プラグを持ってコンセントから抜いて、水抜きを行なってください。（水抜きをしないと、冬期は凍結による器具の破損のおそれがあります。）

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●15ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。

●確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1) 品 名………ガス湯沸器
(2) 品 番………前面左下部に貼付してあります。
(3) 現 象………(できるだけ詳しく)
(4) 道 順………(できるだけ詳しく)

(例)

(N)33-560(U)
大阪ガス株式会社 08

転居される場合

ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります

●ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。
この場合､調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

この器具には保証書がついています

●このガス湯沸器は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。
詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

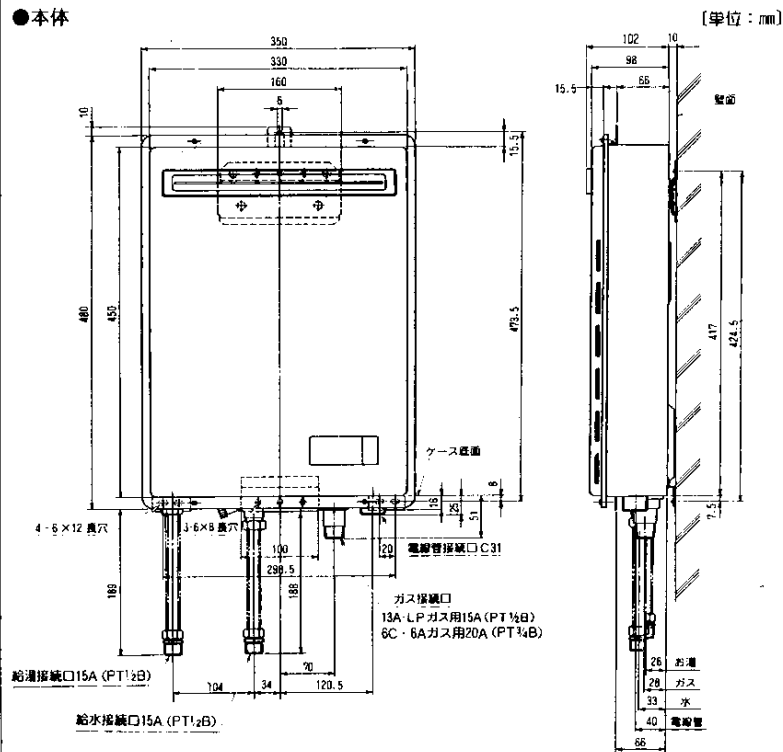
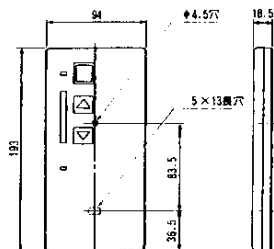
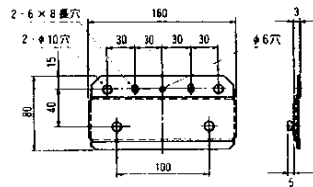
①無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
②補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

品名		ガス湯沸器
種類	給湯方式	先止め式
	設置・給排気方式	屋外用・強制排気式
点火方式		放電点火式
水圧	使用水圧	0.7kg／㎠以上
	作動水圧	0.15kg／㎠
外形寸法	本体	高さ480×幅350×奥行98㎜
重量	本体	14.6kg
接続	ガス	13A･LPG用15A(PT½B) 6C･6A用20A(PT¾B)
	給水	15A(PT½B)
	給湯	15A(PT½B)
電気関係	電源	AC100V･60Hz
	消費電力	45W(凍結予防ヒータ107W) 電源スイッチ「入」運転スイッチ「切」約8W
器具本体の表示ランプ		電源ランプ・燃焼ランプ
安全装置		立消え安全装置・過熱防止装置・過圧防止安全装置・誘導雷保護装置・漏電安全装置・凍結予防ヒータ・空だき安全装置・電流ヒューズ
附属品		給水､給湯フレキシブル管(2コ)・取付板(1コ)・M4ねじ(2コ)・木ねじ(5コ)・メーンコントローラ(1コ)
別売部品		シャワーコントローラ(38-557型) 排気カバー (38-559型) 配管カバー450型(長さ450㎜)(38-555型) 配管カバー200型(長さ200㎜)(38-556型)

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量(最大)	1時間あたりのガス消費量(最小)	出湯能力(ℓ/分)(水圧:1kg/㎠時)	
				水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用	6 A	30,100kcal/h	4,200kcal/h	(16)	10
	6 C	30,100kcal/h	4,400kcal/h	(16)	10
	1 3 A	30,100kcal/h	3,800kcal/h	(16)	10
LPガス用		2.51kg/h	0.35kg/h	(16)	10

出湯能力の(　)内は、水温+25℃上昇に換算した相当出湯能力です。

外形寸法図

特　長

(1)体積、従来比約1/4のコンパクトサイズ。

住いのデッドスペースを有効活用多様な設置性を発揮します。

(2)学習制御機能付FF＋FB制御

学習制御付FF(フィードフォワード)制御により、入水温度と必要ガス量をすばやく演算し、さらに、FB(フィードバック)制御で出湯温度と設定温度の差を補正し、すばやく設定温度のお湯を出湯します。

(3)高TDR(能力絞り比)制御

燃焼量を1/2に切替え、給湯能力は最大1/8まで調節、16～2号までの幅広い湯量がえられます。又、低水圧地域でも、高質湯の使用が可能です。

(4)16号のビッグなパワーでしかも、使いがってを重視した温度調節。

調節範囲は「高」約80℃～「低」約37℃、さらに、39～47℃の範囲では、約1℃きざみの微調節が可能です。

(5)異常報知(警報モニター)付

万一、湯沸器の故障が起きても、原因がひと目でわかる異常報知(警報モニター)が付いているので安心です。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

名称	所在地	電話番号
本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5－1	☎大阪 06（202）2221
南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2－9－41	☎大阪 06（652）0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3－6－35	☎大阪 06（301）1251
堺支社	〒590 堺市住吉橋町2－2－19	☎堺 0722（38）1131
北摂支社	〒569 高槻市藤の里町39－6	☎高槻 0726（71）0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4－11	☎西宮 0798（26）3101
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2－3－17	☎河内 0729（62）1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町16－17	☎枚方 0720（41）1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5－13－10	☎神戸 078（576）5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都 075（231）8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2－4－1	☎奈良 0742（44）1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1－1－1	☎和歌山 0734（31）2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4－8	☎姫路 0792（85）2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町粟津29－1	☎加古川 0794（21）1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6－57	☎豊岡 07962（3）2221
湖南支社	〒525 草津市追分町字荒堀680－1	☎草津 0775（62）5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12－11	☎彦根 0749（22）3131
（長浜営業所）	〒526 長浜市南呉服町3－4	☎長浜 0749（62）7171）

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社